

## 21 近世長崎を研究しよう

生徒が設定した課題を研究していく中で、郷土の歴史資料に興味を持ち、それらの知識をもとに、郷土の歴史や海外との交流について考えることができる。

### 学習過程 (毎週2時間 通年)

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
課題設定 4～6月	<p><b>博物館の展示を見て、自分の研究テーマ(課題)を決めよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各展示ゾーンの展示資料の説明を聞く。</li> <li>○資料について調べる。</li> <li>○各人の研究課題を決定する。</li> </ul>	<p><b>事前打合せ／博物館↔学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による解説。</li> <li>・博物館の図書資料や検索システムを使い文献などを調べさせる。</li> <li>・生徒が決定した課題について研究の指導助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードNo1</li> <li>・ガイドブック</li> <li>・博物館展示資料</li> <li>・博物館図書資料、検索パソコン</li> <li>・学習カードNo2</li> </ul>
研究整理 7月	<p>設定した課題について調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○設定した課題に関する文献についてまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文献を整理したレポートを提出させ指導助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードNo3</li> <li>・博物館図書資料、検索パソコン</li> </ul>
資料収集 9～10月	<p>研究に必要な資料を集めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文献のまとめにしたがって、研究に必要な資料を集め分析をする。</li> <li>○資料の図面や写真を撮る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の見方について指導する。</li> <li>・図面の描き方や撮影方法について指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードNo4</li> <li>・博物館展示資料</li> <li>・博物館図書資料、検索パソコン</li> <li>・デジタルカメラ</li> </ul>
まとめ 11～12月	<p>調べたことをまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文献や資料をもとに研究集録を作成する。</li> <li>○下書き、資料の図面や写真を準備しパソコンを使い清書する。</li> <li>○研究集録を印刷・製本する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の下書きを提出させ指導助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードNo5</li> <li>・パソコン</li> </ul>
発表 1～2月	<p><b>調べたことを発表しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○研究発表会の準備をする。</li> <li>○発表・質疑応答により研究をより深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表について事前指導をする。</li> <li>・学芸員も参加し、指導助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン、プロジェクター、スクリーン等</li> </ul>

## 学習カード No1～5

No1～No5について、それぞれ1ページになるよう加工して使用すると、より詳しいレポートとしてまとめることができます。

No1 博物館の展示資料を見たり、職員の解説を聞いて学習したことをまとめよう。

No2 研究テーマ(課題)を決定しよう。

研究テーマ	
テーマ決定の理由	

No3 研究テーマについて調べたことをまとめよう。

No4 研究に必要な資料を調べよう。

資料名	内容

No5 研究集録の下書きをしよう。

博物館の展示資料を見ながら、長崎貿易をくわしく学習することができる。

学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
事前指導 1～2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒を以下の要領で6班に編成する。</li> <li>①オランダ生活班</li> <li>②オランダ貿易班</li> <li>③中国生活班</li> <li>④中国貿易班</li> <li>⑤日本貿易班</li> <li>⑥長崎奉行(会所)班</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○博物館の設備・展示内容を知る。</li> <li>○各班は博物館での質問事項を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師は各班で出された質問事項について、事前に職員に連絡しておく。</li> <li>・職員は質問事項に対する答えを用意するとともに、紹介する資料について考えておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館ガイドブックなど</li> </ul>
問題追求 1時間	<p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 5px;"><b>博物館での学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各班は考えていた質問事項を職員に質問する。</li> <li>○関連する展示物について、職員の解説を聞き、理解を深める。</li> </ul>	<p style="text-align: center; background-color: #666; color: white; padding: 5px;"><b>事前打合せ／博物館↔学校</b> ※展示資料の確認</p> <p style="text-align: center; background-color: #f4a460; padding: 5px;"><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は質問に答える。</li> <li>・職員は関連展示物について解説をし、質問に答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室内の資料</li> <li>・デジカメ</li> </ul>
まとめ 2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各班は博物館で学習したことを発表する。</li> <li>○質問事項とそれに対する回答をまとめたプリントを作成させ、それに基づいて発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の班が興味を持ち、再度博物館を訪れたくなるように、関連展示物についても紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・TV</li> <li>・デジカメ</li> </ul>

## 参考資料(出島と唐人屋敷)

### 【出 島】

江戸時代、オランダ人が居住した人口築島。当初はポルトガル人の隔離を目的として、1636年(寛永13)豪商の出資により築造され、ポルトガル人を収容した。1639年(寛永16)ポルトガル人が追放されたため、1641年(寛永18)平戸にあったオランダ商館が移された。内部にはカピタン部屋、通詞部屋などのほか、土蔵・菜園・家畜小屋などがあった。出島でのオランダ人は自由な外出を禁止され、日本人の出入りも役人の他は、許可を得た商人や遊女に限られていた。

### 【唐人屋敷】

江戸時代、長崎に来航した唐人を隔離収容した施設。1689年(元禄2)幕府はキリスト教の禁止と密貿易の防止を目的として郊外の薬園に屋敷地をつくり、長崎市中に宿泊していた唐船の乗組員・客商を収容した。面積は9,373坪。門により外部と隔てられ、内部には住宅・風呂屋・関帝廟・観音堂などがあった。また、輸出入品取引のための札場や日本商人の出店のほか番所などがおかれ、役人が交代で詰めていた。唐人は許可なくしては外出を許されず、日本人も役人以外は許可された商人と遊女だけが出入りできた。

## 質問事項のサンプル

これらはあくまでサンプルです。各班に自由に考えさせてよいでしょう。長崎奉行(会所)についてはやや、レベルが高いので、場合によっては省略してもよいと思います。

### ①オランダ生活班

- ・出島はいつできたのか ・出島は現在のどこにあったのか ・出島の広さは ・出島に住んだオランダ人は何人ほどか
- ・一日をどのように過ごしていたか ・どんな人達が来たのか ・何を食べていたのか ・何が楽しみだったのか
- ・現在の日本や長崎の生活文化に影響を与えているものがあるか

### ②オランダ貿易班

- ・どんな船で来たのか ・何を持ってきたのか ・何を持っていったのか ・貿易額はどのくらいか
- ・船はどのようなルートで何隻来たのか ・何日かかるのか ・江戸時代を通じて、貿易額や輸出入品に変化はなかったか

### ③中国生活班

- ・唐人屋敷はいつできたのか ・唐人屋敷は現在どうなっているのか ・唐人屋敷の広さは ・どんな人達が来たのか
- ・何を食べていたのか ・何が楽しみだったのか ・現在の日本や長崎の生活文化に影響を与えているものがあるか

### ④中国貿易班

- ・どんな船で来たのか ・何を持ってきたのか ・何を持っていったのか ・貿易額はどのくらいか
- ・船はどのようなルートで何隻来たのか ・何日かかるのか ・江戸時代を通じて、貿易額や輸出入品に変化はなかったか

### ⑤日本貿易班

- ・日本からの輸出品はどうやって長崎に集められたのか ・日本への輸入品はどうやって国内にさばかれていったのか
- ・貿易の利潤は誰の手に渡ったか ・日本への輸入品は国内の経済や社会にどんな影響を与えたか

### ⑥長崎奉行(会所)班

- ・長崎奉行や長崎会所はいつ置かれたのか ・それはどこにあったのか ・誰がそこに勤めていたのか
- ・役人の給料はどれくらいだったか

長崎派の美術を通して日本の美術や郷土の美術に興味・関心を高めることができる。

学習過程

	学 習 活 動	学校の指導と博物館の支援	教材・資料など
鑑賞学習 2時間	<p><b>博物館で長崎派の絵画を鑑賞しよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の見学を聞きながら作品を鑑賞する。</li> <li>○長崎派の絵画の特徴などを知る。</li> <li>○長崎派の絵画の歴史的な背景について知る。</li> </ul>	<p><b>事前打合せ／博物館↔学校</b> ※展示資料の確認</p> <p><b>見学マナーの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による展示作品の解説。</li> <li>・わからないことなどを質問させ、感想をのべさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設ガイドやパンフレット</li> <li>・学習カード</li> </ul>
資料の作成 1時間	<p><b>作品について調べよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことを発表しやすいようにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室や情報室等で十分調べさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カード</li> </ul>
まとめ 1時間	<p><b>調べたことを発表し、話し合おう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○調べたことを発表する。</li> <li>○発表をもとに作品の特性などについて話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎派の特徴を知ることによって日本美術への興味関心を高め、表現の多様性について知る。</li> </ul>	
発信 1時間	<p><b>自分たちの活動をみんなに伝えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校のホームページ上で発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ作成を支援する。</li> <li>・自分たちの活動を知ってもらうことによって活動意欲をさらに高めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルカメラ</li> <li>・パソコン</li> </ul>

## 【資料】長崎派の絵画について

長崎は、江戸時代の鎖国体制下、日本で唯一の貿易港であったので、中国やオランダからもたらされる絵画の影響を受けて、さまざまな画派がおこりました。これらの諸画派を総称して長崎派と呼んでいます。長崎派の絵画は、外国の新画法を江戸や京、大坂という中央に伝えるのに大きな役割を果たしました。大きく分けて次のような画派があります。

- ①黄 檗 派…黄檗宗(禅宗の一派)の中国僧によって伝えられたもので、高僧の肖像画を中心とし、陰影のある写実的表現に特徴があります。
- ②漢 画 派…正保元年(1644)に来日した黄檗僧逸然を祖とします。その門下に河村若芝、渡辺秀石らがあり、中国の伝統にもとづいた北宗画風の絵を描きました。秀石をはじめ、この画派の多くが唐絵目利職につき、長崎派の中心的流派となりました。唐絵目利職は、輸入書画を鑑定するほか、輸入品の図を描いて記録する役目を持っていたので、写実性の高い絵が描かれました。
- ③南 蘋 派…享保16年(1731)に来日した中国の画家沈南蘋(沈銓)に始まり、精緻な花鳥画を描きました。その画風は、南蘋に直接学んだ熊斐を通して京、大坂の鶴亭や江戸の宋紫石などに伝わり、わが国の写実的な画風が広まるきっかけとなりました。
- ④南 宗 画 派…長崎に来航する中国船員のなかには、絵をよくするもの、文人的な素養を身につけた者が多くいました。彼らは、水墨を主とする南宗画・文人画を伝えました。1720年以降たびたび渡来した伊孚九は、長崎のみならず池大雅のような日本の文人画家に大きな影響を与えました。
- ⑤洋 風 画 派…オランダから伝わった洋風画法を学んで、18世紀末頃からはじまりました。若杉五十八、荒木如元は、当時としては本格的な麻布油彩の西洋風俗画を描きました。
- ⑥長崎古版画…江戸時代の中期から始められたもので、各種の外国人、オランダや中国の船、象、ラクダ、ダチョウなどのめずらしい動物など、長崎特有の異国風物を題材にしています。

## 学習カード

作 品 名	
作 品 の 技 法	
作者名・生没年	
制作年・サイズ	
<p>あなたは、作品を見て何を感じましたか。気になる点について言葉でまとめてみましょう。そして、気になったところを模写してみましょう。</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p>	
学芸員の先生の話をもとめよう。	

# 博物館施設を利用するにあたって(Q&A)

長崎歴史文化博物館では、学校向けに様々な学習支援を行っています。  
ここでは利用上のお願いや情報をQ & A方式でまとめてみました。

**Q** 長崎歴史文化博物館を活用した授業を行いたいのですが、誰に相談したらよいのでしょうか。

**A** まず、電話で博物館に連絡を取ってください。博物館には学校との窓口になっている担当者がいますので、具体的な内容について相談してください。学年や人数に合わせた学習課程やワークシートの作成など、御要望に合わせて対応します。

**Q** 学校利用の申し込みは、どうすればよいのでしょうか。

**A** まずは、電話にて利用の詳細をご連絡下さい。(団体名・代表者氏名・観覧日時・観覧者数など)ご希望の実施日から約2ヶ月前までに申し込み内容等を御相談下さい。

**Q** 事前打合せは必ず行わないといけないのでしょうか。

**A** できれば下見を兼ねて、博物館での打合せをお願いしています。活用資料を見ながら当日の学習について話し合います。学校と博物館の役割を確認し、児童生徒の実態に即した内容を工夫することができます。ただし、遠隔地の学校については電話で打合せを密にしてください。

**Q** 費用はかかるのでしょうか。

**A** 教育課程の中で博物館を利用する場合は所定の手続きを行うことにより、引率を含めて入館料は免除になります。ただし、学習内容によって材料や材料費が必要になる場合があります。打合せの際に御確認ください。

**Q** 長崎歴史文化博物館のことを事前に知りたいのですが。

**A** ホームページで最新の情報をご案内しています。年間スケジュール、展覧会情報、ニュース(館報)などが御覧いただけます。

**Q** 学習をまとめ、発表する際に写真を使いたいのですが、館内の写真撮影はできるのでしょうか。

**A** 体験学習などを行っている学習活動の撮影は可能です。フラッシュ撮影については禁止しています。

**Q** 歴史に関する調査や研究をしたいのですが。

**A** 情報コーナーにある歴史に関する書籍を自由に観覧できます。また、全国の博物館情報やポスター、パンフレットなどが常時備えてあります。

**Q** 調べ学習を行う際、児童生徒だけで博物館に出かける場合、事前連絡は必要でしょうか。また、その連絡は児童生徒にとらせてもかまわないでしょうか。

**A** 展示室を利用した学習は開館時間内であれば連絡は必要ありません。ただし、学芸員から専門的なアドバイスを受けたい場合は、事前連絡をお願いしています。質問内容に適した専門分野の学芸員が出張などで不在のときがあるからです。また、児童生徒が事前連絡を直接してもかまいませんが、どのような授業で、何について知りたいのかきちんと説明できるように学校で指導してください。

**Q** 休日も対応していただけるのでしょうか。

**A** クラス単位の体験学習は行っていませんが、調べ学習には対応しています。ただし、博物館主催事業があったり、専門の学芸員が不在の場合がありますので事前に御相談することをおすすめします。

**Q** 利用したいのですが、博物館が遠く、児童生徒を連れて行くことが困難です。何かよい方法がありますか。

**A** 出前授業や遠隔授業などもあります。まず電話で御相談ください。

■プロジェクトメンバー

田川雄一（長崎市立稲佐小学校教諭）  
山口正明（大村市立西大村小学校教諭）  
大浦雅宏（長崎市立梅香崎中学校教諭）  
中島新吾（大村市立大村中学校教諭）  
浦田和彦（県立大村城南高等学校教諭）  
野田寛司（平成15年度 県立国見高等学校教諭）

■オブザーバー

藤澤英典（政策調整局都市再整備推進課参事）  
小松 旭（政策調整局都市再整備推進課指導主事）  
立木貴文（長崎県教育庁学校教育課指導主事）

■事務局 長崎県教育庁学芸文化課

〒850-8570 長崎市江戸町2番13号  
電話 095-826-5010 FAX 095-824-1344

樋口 聡（長崎県教育庁学芸文化課長）  
志水 信吉（長崎県教育庁学芸文化課課長補佐）  
岩永 嘉人（長崎県教育庁学芸文化課係長）  
野田 寛司（平成16年度 長崎県教育庁学芸文化課指導主事）



History culture museum

# 長崎歴史文化博物館

総合的な学習の時間・教科の授業に使える

教師のための長崎歴史文化博物館活用事例集

## ◎周辺地図



## ◎問い合わせ先など

長崎県政策調整局都市再整備推進課

博物館建設準備班

長崎市江戸町2番13号

TEL 095-820-8041・FAX 095-820-3274